

埼玉特産「大型ホンモロコ」を育てる

埼玉県では、ホンモロコ養殖が盛んに行われ、生産量は 20 トンで日本一を誇っています。販売サイズは体重 3 g の小型で主に「ざこ煮」として食べられています。一方、琵琶湖で漁獲されるホンモロコは体重 8 g 前後の大型魚であり、料亭では、素焼きや、寿司ネタなど的高级魚として取り扱われています。そこで、小型魚以外に、大型ホンモロコの養殖技術の開発に取り組みました。

その結果、飼育池 100 m²当たり 15,000 粒の卵をふ化させて、秋まで飼育すると体重 8 g の大型ホンモロコを生産することが出来ました。

採卵時期



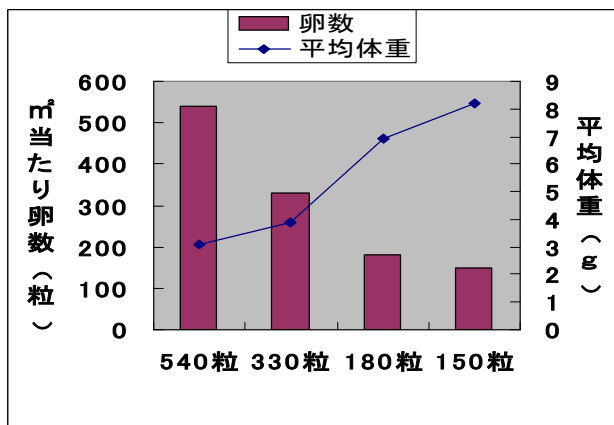
採卵は4月の早い時期に行い、飼育期間を長くした方が成長は良い。

給餌管理



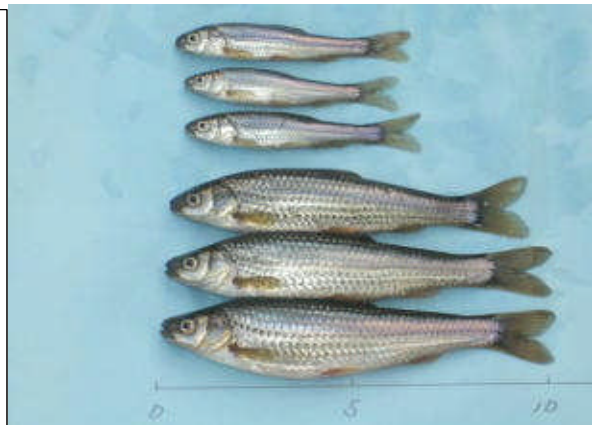
給餌方法は、1日当たり1.5時間×4回を行うのが、最も効率的であった（飼料効率73%）。

1 m²当たりの卵収容数と平均体重



1 m²当たり150粒の卵を収容。ふ化率70%、生残率60%、秋取揚げ尾数63尾で、平均体重 8 g の大型魚を生産することが出来た。

大型ホンモロコ



上段は「ざこ煮」用の小型サイズ。下段は平均体重 8 g の大型ホンモロコ。